



[ホーム](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース \(2004年\)](#) > 日本ゼオン、ブルーレーザー対応ZEONEX® 新製品 (ZEONEX340R) を開発

日本ゼオン、ブルーレーザー対応ZEONEX® 新製品 (ZEONEX340R) を開発

2004年11月5日

日本ゼオン（社長 古河直純）は、このたび次世代光ディスクとして有力視されているブルーレーザーを使用したBlu-ray及びHD DVD両方式対応の光ピックアップレンズ材料として、高機能熱可塑性透明樹脂シクロオレフィンポリマー（COP）ZEONEX® の新製品「ZEONEX340R」を開発し量産技術を確立した。

現在、光ディスクメディアでは2006年からの地上デジタル放送の本格展開を前に、大容量のハイビジョン映像の録画・再生をも可能にする、ブルーレーザーを使用した高密度な記録・再生媒体の開発が急速に進んでいる。

そのような中、現行のDVD光ピックアップレンズ用の光学樹脂では、ブルーレーザーで長時間使用すると光線透過率が低下してしまうという欠点があり実用に供することができなかった。この為、レンズについては高コストなガラスを使用せざるを得ず、このことはブルーレーザーを使用した記録・再生媒体の普及において大きな障害のひとつといわれている。

今回、日本ゼオンは、ブルーレーザーの長時間連続照射試験でも光線透過率変化を最小限に抑えた「ZEONEX340R」の開発に成功し、量産技術を確立した。「ZEONEX340R」は、従来の光学樹脂と同様に射出成形でのレンズ量産も可能なことから、ブルーレーザー対応記録・再生媒体の普及に役立つレンズ材料となる。

「ZEONEX340R」は、従来のZEONEX® シリーズの新製品として、2004年11月より高機能樹脂事業部が販売を開始する。2007年度売上高20億円以上を計画している。


高機能熱可塑性透明樹脂シクロオレフィンポリマー（COP；製品名 ZEONEX®、ZEONOR®）は、LCD用光学フィルム（製品名：ゼオノアフィルム®）・拡散板、カメラ付き携帯電話・デジカメ・DVD市場での光学用途において需要が急拡大している。そのような中、今後も市場のニーズに対応した新製品提案を積極的に行う予定。

補足説明

COP

当社は、ナフサからエチレン、プロピレンを製造する際に副生されるC5留分の総合利用を推進しており、COPはC5留分を抽出分離して製造するジシクロペンタジエンが原料。当社が1990年に世界に先駆けて独自に開発、上市したCOPの高級グレードである「ZEONEX®（ゼオネックス）」は、透明性樹脂の中でも吸水性が極めて低く、加熱溶融時に流れやすいため精密成型性が良く、また比重が小さいなどの特性を持つ。さらに本樹脂は高透明性や低複屈折性などの優れた光学特性を有しており、カメラ付き携帯電話やデジタルカメラ・コンパクトカメラのレンズ・プリズム、OA機器のピックアップレンズなど光学用途、CDやMD、DVDなどの光ディスク用途、その他の分野で使用されている。

また当社は98年に、高透明性を維持し、耐衝撃性と耐熱性を改良したCOPの汎用グレードである「ZEONOR®（ゼオノア）」を上市した。LCD用導光板・拡散板、光学フィルム、自動車ヘッドランプのエクステンション、食品用容器、医薬品分野の容器や包装材などに幅広く採用されている。

 本件に関するお問い合わせ

日本ゼオン株式会社 CSR統括部門 広報室

Tel : 03-3216-2747

[▶ お問い合わせフォーム](#)